



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和4(2022)年4月22日

第5号

編集・発行：校長 上甲 尚

四中を誰にとっても居心地のいい学校に

～四中から”チクチク言葉”をなくしていきましょう!～



私たちは「言葉」をとおして他者とコミュニケーションを図ります。言葉遣いひとつで、相手を励ましたり、勇気づけたり、ほっこりさせることもあれば、傷つけ、落ち込ませることもあります。だからこそ「言葉」は大切にしなければなりません。

皆さんは普段、友達やクラスメイト、先輩・後輩、家族、先生、近所の人、その他の知り合いの方など、人と話をする時、言葉遣いに気を付けていますか? ついつい「ムかつく!」「きもいんじゃ!」拳句の果てには「死ね!」「死ねばいいのに」(このような言葉は絶対に使ってはいけません)などと、人を傷つけるような、人権侵害にあたるような言葉を使ったことはありませんか? 言葉は「凶器」になることもあります。自分の言動をふり返ってみてください。

乱暴な言葉が飛び交う教室・学校は、どんな雰囲気になりますか? 反対に温かい、優しい言葉が交わされる教室・学校は、どうでしょうか。どちらが居心地のいい教室・学校でしょうか。言わなくてもわかりますよね。一人ひとりが気を付けて、「あったか言葉」が交わされる教室、学校にしていきましょう。四中から「チクチク言葉」をなくしていきましょう。

あったか言葉の例

- | | |
|------------|---------|
| ・ありがとう | ・頑張ってるね |
| ・だいじょうぶ | ・最高! |
| ・すごいね | ・その調子 |
| ・元気出してね | ・ファイト! |
| ・ドンマイ | ・やったね |
| ・応援してるよ | ・どうしたの? |
| ・よかったね | ・よろしくね |
| ・一緒にがんばろうよ | |
| ・いっしょだね | ・いいね! |
| ・仲間だね | ・その調子! |

チクチク言葉の例

- | | |
|-----------|----------|
| ・アホ! | ・きもいんじゃ |
| ・むかつく! | ・黙れ! |
| ・消えろ | ・どっか行け |
| ・目障りだ | ・(無視) |
| ・死ね! | ・死ねばいいのに |
| ・調子にのるな | ・ツラ出すな |
| ・くたばれ! | ・ふざけんな |
| ・地獄に落ちろ | ・もう終わってる |
| ・間抜け | ・意味わかんない |
| ・お前なんかいらん | |

ボランティア清掃活動(四宮第3公園)



20日(水)の放課後、校区内にある四宮第3公園に行き、ボランティアの生徒12名と先生方で清掃活動を行いました。最近、地域の方から「四中生が第3公園でたくさんたむろして、迷惑行為やゴミを散らかしたりしています」というお電話を何度かいただいております。

そこで、「第3公園をきれいにしよう」と生徒指導の東先生が呼びかけ、それに応えた生徒たちが公園内のゴミ(お菓子の包み紙やタバコの吸い殻など)を一生懸命拾い、たくさんのゴミを回収してくれました。

地域の方からも声をかけていただき、とても良かったと思います。これからも続けていければと考えています。参加してくれた生徒の皆さん、お疲れ様でした。

大阪独自モデルが「黄信号」(イエロー)に(4/25から)

～クラブ活動の制限に変更があります～

大阪府は昨日(21日)、新型コロナウイルス対策本部会議を開催し、コロナ対策の大阪独自モデルを25日(月)より「赤信号」(レッド)から「黄信号」(イエロー)に変更すると発表しました。このことを受け、門真市としてクラブ活動の制限について、以下のように変更になります。



【4月25日(月)～】

○練習試合、合同練習…実施可

○活動時間…部活動ガイドラインに沿って、平日2時間(下校時間は17:00)、休日3時間程度まで可。原則として平日1日、休日1日の週2日の休養日を設ける。

◎引き続き、感染対策を徹底した上で行う。特にミーティングや準備、後片付けなど、マスクを外さないように気をつける。活動中のマスクを外した場面に要注意。クラブで昼食をとるなど、極力行わない。

◎保護者の観戦については、中体連(中学校体育連盟)の通知に従う。現時点では、リモート開催です(保護者の観戦は不可)。

依然、新型コロナウイルスの感染は収束していません。もし、また感染が拡大し、「赤信号」に変更になると、また対応が変わります。その際は、すぐにお知らせします。

昨日の大阪府の新規陽性者は3,565人、門真市は32人です。依然として予断を許さない状況が続いています。これまでに門真市で感染した人は累計で11,081人にのぼります(現在の門真市の人口は11万8,742人)。感染力が強い変異株が次々に登場し、いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない状況です。引き続き、「3密の回避」「マスクの着用」「手洗い・消毒の徹底」「こまめな換気」など、感染対策を徹底していきましょう。長い闘いになってはいますが、みんな我慢しています。力を合わせて乗り越えていきましょう。